



物質中の電子を理解する計算技術

あらゆる物質は膨大な数の原子で構成されていて、それぞれの原子核の周りには多くの電子が存在します。1998年のノーベル化学賞の受賞対象になった密度汎関数理論の登場により、コンピュータ上で物質中の電子状態を解析できる第一原理計算が発展しました。

現在、大学・研究機関・産業界など様々な場所で、第一原理計算による物質の理論解析が行われています。今回のテーマでは、第一原理計算の基本と第一原理計算を活用した半導体研究の事例を紹介します。



九州工業大学 情報工学研究院
物理情報工学研究系 准教授

野田 祐輔 氏



日時：2026年1月23日（金）18:00～19:30
場所：九州工業大学（飯塚キャンパス ラーニングアゴラ棟）
オンラインでもご参加できます
※オンラインの情報は当日17:00頃お送りします。



参加費：無料
定員：対面20名、オンライン100名 お申込みが必要です
お申込み・お問い合わせ先
九州工業大学情報工学部 広報室
電話：0948-29-7509
Web：<https://www.iizuka.kyutech.ac.jp/pr/sciencecafe>



国立大学法人

九州工業大学